

樽前山

1 概況

A 火口や B 噴気孔群は高温の状態を維持していると推定され、火山活動はやや活発な状態が続いています。

2 噴煙の状況

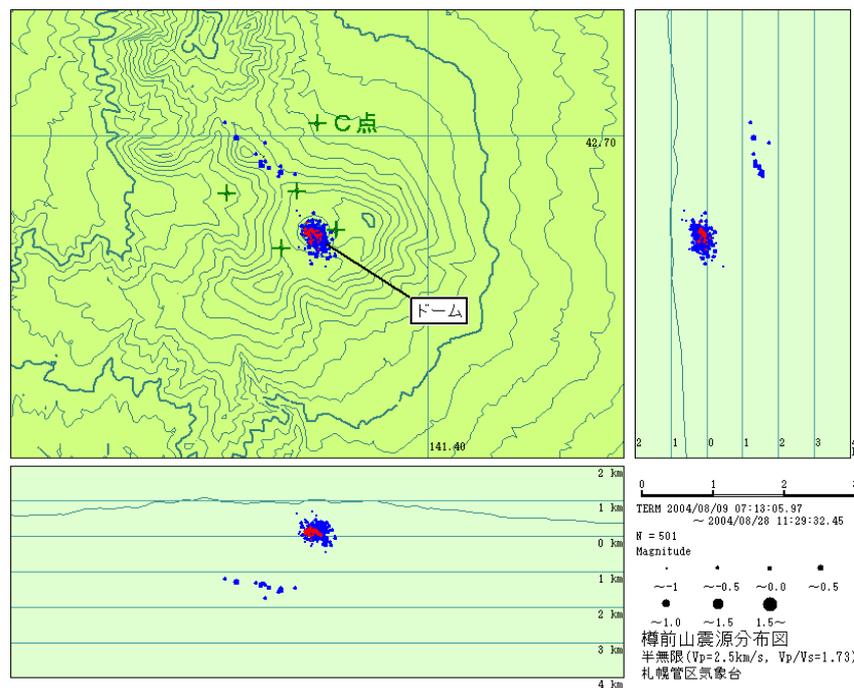
今期間の各火口の噴煙の状況は前期間と大きく変わらず、噴煙の高さは火口縁上おおむね 100m 以下で推移しました。

3 地震および微動の発生状況

今期間は、24 日に一時的に地震の増加が見られましたが、おおむね通常のレベルで経過しました。震源は山頂火口原の浅部（海拔前後）で、通常の震源領域内の活動です。火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数（C 点）

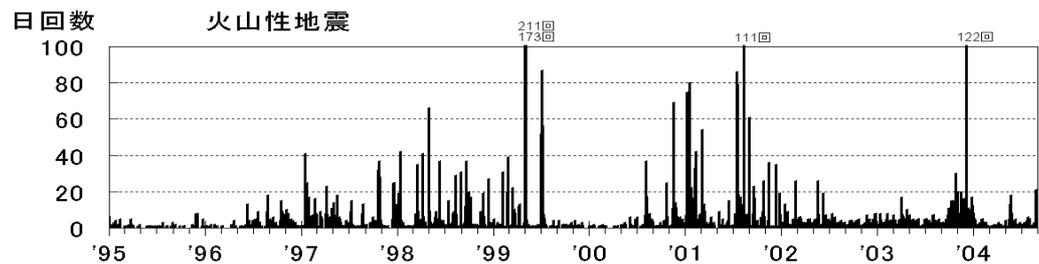
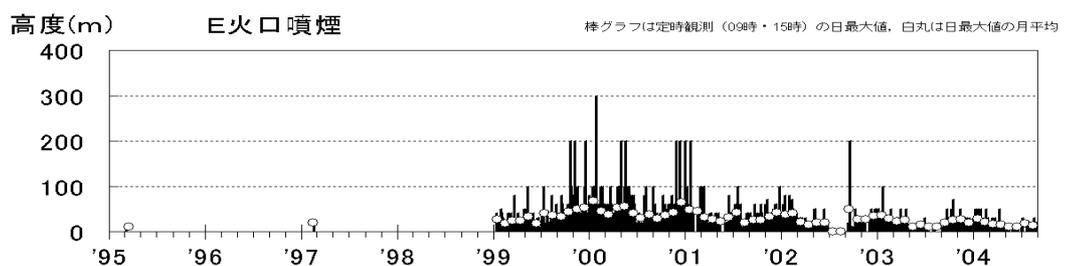
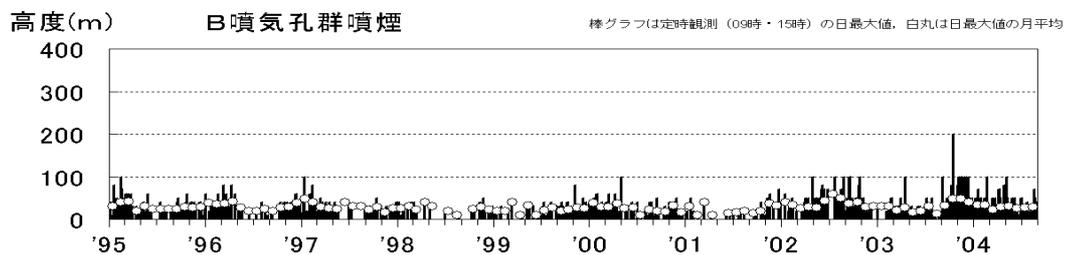
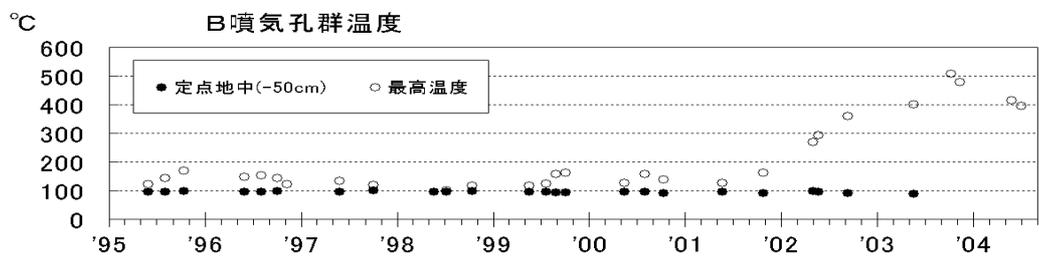
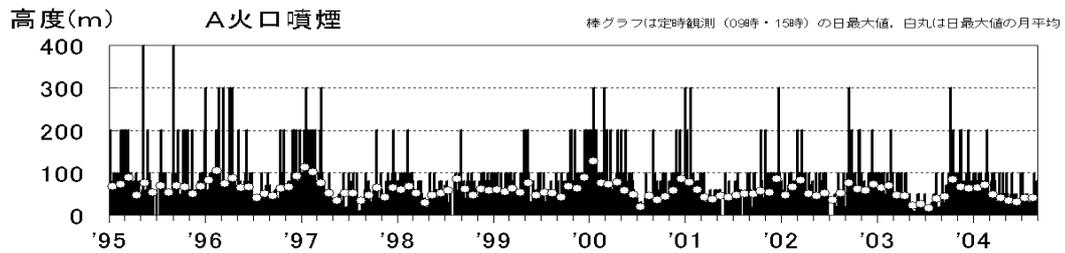
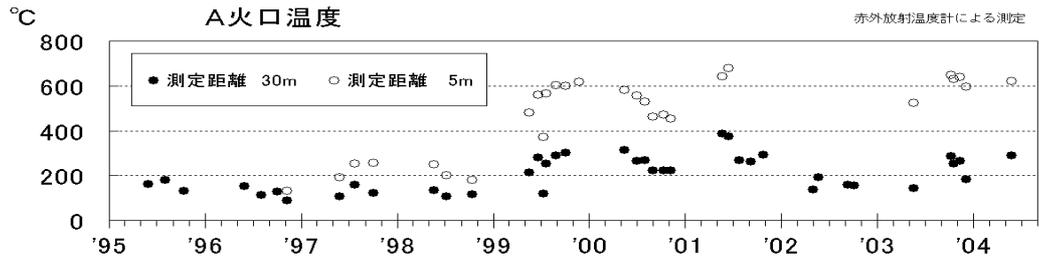
| 2003～2004 年 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 |
|-------------|-----|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 地震回数 | 73 | 113 | 151 | 283 | 58 | 37 | 10 | 19 | 77 | 34 | 44 | 46 |
| 微動回数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |



樽前山の震源分布図（丸印：震源、+印：地震観測点）

赤丸は今期間（2004 年 8 月 1 日～8 月 31 日）に求めた震源を示しています。
 青丸は前期間までの 1 年間（2003 年 8 月 1 日～2004 年 7 月 31 日）に求めた震源を示しています。

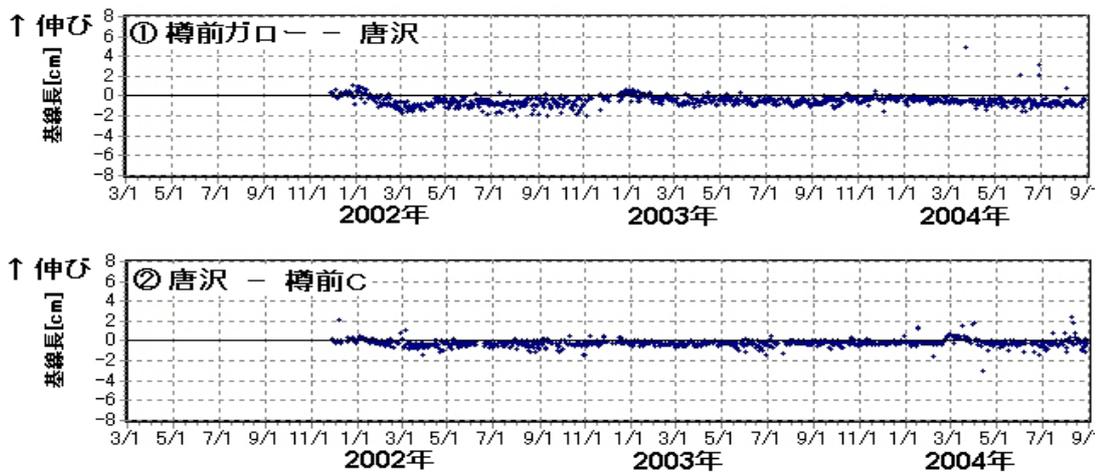
過去の震源分布はほとんどが山頂ドーム直下の浅部（海拔付近）に集中しています。ドームの北西約 1.5km 付近に見られる震源は、十勝沖地震後の 2003 年 9 月 28～29 日にかけて一時的に発生した地震です。



最近の火山活動経過図(1995年1月1日~2004年8月31日)

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は認められません。



基線長変化(2001年11月14日~2004年8月31日)

